

<出席委員会>

井上勇委員長

	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第1488回	45※	36	9		80.00%
第1487回	45※	34	11	5	86.67%

*出席免除会員1

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	30件	32,000円	1,025件	1,131,000円
財団	0件	0円	70件	527,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	216,000円
米山	3件	43,000円	50件	716,000円

本日のプログラム

次年度四大奉仕委員会より、先日行われました地区協議会の報告をします。

<クラブ奉仕委員会>

中島眞一次年度委員長

ロータリーを樹木にたとえれば、クラブ奉仕はその根幹となるものです。まず元に、クラブ内部での親睦を図ることによって奉仕の理想は生まれるということです。それには最小限、例会に出席することが奉仕の始まりです。会員増強についてはそれを強いる結果、例会は欠席、会費は滞納するというロータリアンの質の低下という事実もあります。新会員に入会を勧めるときには、ロータリーの本質を理解してもらうことが大事です。

話は変わりますが、ミシガンの間野さんからメールがありました。今年8月に卒業予定ですが、ボストンのカレッジに願書を提出しており、日本で教鞭をとるために引き続き学びたいということです。

<職業奉仕委員会>

井上勇次年度委員長

分科会ではリーダーとサブリーダー3人、計4人の方から30分ずつお話がありました。内容はまず職業奉仕の概要、歴史です。世界中のロータリアンが職業奉仕をどのように定義しているか例をあげての説明がありました。次に地区の職業奉仕の実践例。これは教職員等の夏季民間企業派遣研修への取り組みについてです。3番目は「ロータリーと職業奉仕」というテーマでのお話です。「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」はRIのテーマの1つとなっています。最後はタクシー会社を経営されてい

る関サブリーダーの「私の職業奉仕観」という業界の実情に基づいたお話でした。

<社会奉仕委員会>

小塚次年度委員長

内藤会員に代理出席していただきました。まず亀ヶ谷リーダーからのクラブ運営と奉仕の歴史についてお話がありました。2番目にロータリーの社会奉仕・情報の共有化と交流について。主にプロバスクラブの推進についての内容でした。プロバスクラブというのはロータリーのOB会のようなものです。3番目の「社会奉仕の前例踏襲化への警鐘」というのは、要覧にもある社会奉仕に関する1923年の声明についての内容でした。最後に「わが地区の社会奉仕」というテーマで、多摩川の清掃を行うといったような具体的な事例発表がありました。

<国際奉仕委員会>

嶋次年度委員

大西委員長の代理出席をしてきました。岡本リーダーは挨拶の中で、お金だけ出せばいいというものではなく、知恵や汗、感動を与えなければならないと言っておられました。本年度も強調事項としては水保全、保健および飢餓、識字率向上を図っていきます。しかし、国際奉仕活動は実際には半数のクラブしか行っていないのが現状です。次に、神奈川東RCのスリランカにおける井戸を掘ったり、絵本を贈るといったような活動が紹介されました。きっかけは卓話で、またそれによって寄付を集めたので、もっと卓話を活用してはということでした。1年間に国際奉仕ができなかったとしても、2月の国際奉仕月間に卓話をひとつ行えば何かのきっかけになるかもしれません。

